

# 連携医院のご紹介



## 医療法人社団 宏精クリニック

〒734-0015  
広島市南区宇品御幸3-1-11  
電話/082-256-0065  
院長/望月信宏  
診療科/内科、呼吸器科  
小児科、婦人科  
リハビリテーション科

当院と連携して患者さんを診療している医療機関をご紹介します。今回は、内科クリニックを開業されて14年になる宏精クリニック 望月先生です。

### ○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

自分は呼吸器が専門だけど、専門知識だけで患者さんを診ることはできません。大学の時に、「病気をみるのではなく、人をみなさい」と言われましたが、今は自分を総合医だと思っています。患者さんの家族や経済的背景など見えてくると関係がきて「患者さんを診る」ことができるようになります。

### ○県病院はどんな病院ですか。

他の病院と比べて、看護が暖かく、きめ細かい。看護学校があった伝統が、そういうものを作っているんですかね。それともっと検査入院を増やしたらいい。これで土・日を埋めると収益につながるのに。(笑)

### ○開業医のおもしろさは何ですか。

出会うきっかけは、「医師」と「患者」ですが、長くつきあうとそれでは割り切れない何かが生まれるのが楽しい。父が産科医だった関係で、長いおつきあいをさせていただいているご家族も周りにはたくさんおられます。子どもさんからそのおじいさま・おばあさまの三世代にわたって関わりのある方もおられるんです。それゆえに、気心の知れた関係を保つ事ができているかもしれません。

#### 【取材後記】

「コンピューターがない診察室はめずらしいじゃろ?」と望月先生。「なるほど…。」先生、ありがとうございました。

県立広島病院広報誌

# もみじ



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号  
TEL(082)254-1818(代) FAX(082)253-8274  
ホームページ http://www.hph.pref.hiroshima.jp/

第24号  
2011.1.1  
発行

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



八幡平のはい松です。  
厳しい医療界の現状でも、病院スタッフとなって、この松のように、可憐に芽吹き、強く生きたいものです。  
(副院長(兼)循環器内科主任部長  
岡本光師)

## ご案内

### 1月のがんサロン

■とき/1月17日(月)  
14:00~15:30

■ところ/新東棟2階ラウンジ

■内容/  
最新の胃癌術式と術後障害への対策  
消化器・乳腺・移植外科  
主任部長 漆原 貴

■問い合わせ先/  
総合相談・がん相談室



### 助産師による妊婦さんと家族のための サポートプラン

当院で分娩される方に、安全な周産期医療の提供と、より良いマタニティライフ、子育ての応援をします。

#### ■助産外来

正常な妊娠経過をたどる32週以降の方を対象に、妊婦健診や保健指導を行います。(妊婦公費券で対応できます。)

#### ■母乳外来

産後の方に乳房ケア、母乳、育児相談を行います。(有料:当院以外で出産された方も利用できます。)

#### ■予約先/産科病棟

## 外来診療のご案内

### ■診療受付時間

午前8時30分~午前11時00分  
※午後の診察は科によって異なります。

### ■休診日

土曜日・日曜日・祝祭日  
年末年始(12月29日~1月3日)

### ■紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

### ワンポイント健康メモ -正月明けのダイエット-

年末から年始にかけては忘年会、クリスマス、お正月とイベントが多い時期です。楽しくおしゃべり、ついつい食べ過ぎてしまい、体重計に乗ってビックリ!なんてことも多いですね。



#### ○食事は時間は決めて

だらだらと食べているとつい食べ過ぎてしまします。

#### ○一人分を盛り付ける

大皿から食べると食べた量がわかりにくいでしょ。

#### ○野菜や汁物などの低エネルギー料理を加える

できれば最初に食べて空腹感を和らげておくといいですね。

#### ○目のつくところに食べ物を置かない

見えるところにあると果物やお菓子などについつい手が伸びてしまします。

それでも食べ過ぎてしまいそうになったら思い切って残しましょう。

次に低エネルギー食の決定版、年明けに食べる七草粥のレシピを紹介します。

### 七草粥

エネルギー 169kcal  
タンパク質 3.6g  
塩 1.0g



#### 材料

ごはん※1 100 g  
水 300 cc  
せり・かぶの葉※2 各少々  
塩 小さじ1/6

#### 作り方

- せり・かぶの葉をみじん切りにする。
  - なべにごはん、水を入れ中火にかけ、ごはんがふっくらとしたら塩と①を加え緑が鮮やかになったら火を止める。
- ※1 お米から作ってもおいしいですよ。  
お好みでお餅をいれてもOK。
- ※2 青菜はこの時期手に入るものであれば何でもOK。

お正月を思いっきり楽しんだ後に、胃を休ませるには、最適なレシピです。ぜひ先人の知恵をお試しください。

# 診療科だより

第4回

最新治療を  
24時間提供

## 循環器内科

岡本主任部長に直撃インタビュー!!

県立広島病院循環器  
内科の特徴は何で  
しょうか?



岡本主任部長

不整脈、虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症）、弁膜症など、心臓の病気のすべての分野の診断、治療能力で、常にトップレベルを維持していることです。

例えば、心臓カテーテルを用いた各種心疾患、血管疾患治療は、様々な工夫を凝らし、安全で確実な治療を目指しています。冠動脈形成術、動脈形成術の成功率は97%以上、カテーテルアブレーションの死亡率は0%です。頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション治療は、広島ではもちろん中国・四国地方でも草分けです。

循環器内科ではどんな病気を治療するのか教えてください。

冠動脈疾患、心筋症、心筋炎、弁膜症、それによる心不全、不整脈、高血圧、高脂血症、閉塞性動脈硬化症、肺高血圧症、肺塞栓症、深部静脈血栓症など循環器疾患を幅広く診療しています。

また、当院での治療後は、地域の連携施設、かかりつけの先生方に治療を継続していただき、当院と共同してフォローするようにしています。高血圧の予防にも力を入れていて、市民講座なども定期的に開いています。

当院では昨年から脳・心臓救急患者に対応できるように脳・心臓当直を開始しましたが、その状況はいかがですか？

やはり、緊急的心臓カテーテル検査の件数は増えています。それも、重症患者が運ばれてきています。この間も、買い物中に倒れた方が運ばれていきましたが、カテーテル治療とともに低体温療法を行うことで救命することができました。このように、最新の治療を24時間提供できる病院は市内でも少なく、これからもたくさんの患者さんを救命できるように頑張りたいです。

### 循環器内科のスタッフを紹介してください。

医師歴30年以上の超ベテラン橋本先生、患者さんにやさしく丁寧な上田先生、不整脈の権威である平尾先生、冠疾患の権威である福田先生、頑張り屋の松本先生、沈着冷静な岩崎先生、脂の乗り切った木下先生、100m走が11秒台の俊足の持ち主友森先生です。

### ところで岡本先生の趣味は何ですか？

テニスです。古い友達と週に1回やっています。それと、毎朝、中国新聞を隅から隅まで読むこと。あとは、日曜クッキングですね。焼き飯や、そうめん、すき焼きなどは、家内が作るよりもおいしいですよ。

### 循環器内科のモットーを教えてください。

患者さんとともに病気と闘い、患者さんとともに喜ぶ。これは、医師に共通のやりがいですが、救急で運ばれてきた患者さんを救命し、よくなって退院された時は、とてもうれしいですよ。

救急患者の緊急心臓カテーテルになると先生方が一斉に駆け付けてくれる循環器内科。岡本主任部長を中心に抜群のチームワークで24時間闘っています。



後列左より 木下、松本、岩崎、友森  
前列左より 上田、岡本、平尾、福田

次回は、消化器・乳腺・移植外科に直撃インタビューします。

# 院内ふしき発見

制服のなぞ

外来の受付近くに、似ているけどちょっと違う2種類の制服を着ている職員がいます。

「この職員さん達の制服の違いは、何？」と思われたことはないでしょうか。

実は、グレーの制服を着ている人（写真：右）は「クラーク」、ブラウンの制服を着ている人（写真：左）は「メディカルクラーク」という職種で、それぞれ担当している仕事が違うのです。

「クラーク」は、受付・案内や料金計算、電話応対などをを行って、患者さんと多くかかわる仕事をしています。

「メディカルクラーク」は、診断書やカルテの代行入力など医師の事務作業のサポートを行う仕事をしています。ちなみに、当院には12月現在で、クラークは75人、メディカルクラークは14人が勤務しており、病院の事務的な業務の大切な分野を担っています。



左：メディカルクラーク 右：クラーク

## 看護部便り

迅速 丁寧 親切に 内科外来

内科外来は8科の内科系の診療科が集まっています。看護師9名、メディカルクラーク2名の少人数で診療がスムーズに行えるよう、15の診察室がある広い内科外来をぐるぐると回って勤務しています。

迅速、丁寧、親切をモットーに、さまざまな専門外来を通して、患者さんが家で安心して生活していただけるよう、看護や生活指導をさせていただいているいます。

患者さんからの病気や生活の悩みは、院内のほかの部署のスタッフと連携をとり、解決できるようにしています。

不安なことがありましたら、受診時に看護師に声をかけてください。



### わたしたちが

総合診療科 内視鏡内科 神経内科  
循環器内科 呼吸器内科・リウマチ科  
消化器内科 糖尿病・内分泌内科  
腎臓内科の外来患者さんの看護にあたっています。

